

第3期 港まち 小名浜の グランドデザイン

再発見！しおかぜがつなぐみなとまち
これからの20年…



“港・人・まち” つなぐ おなはまの夢

小名浜まちづくり市民会議

はじめに

西暦2000年、自分たちが住むこれからの小名浜をどのようにしていくべきかを考え、行動する団体を目指し、企業、個人、団体が大同団結して誕生した「小名浜まちづくり市民会議」が活動を開始してから20有余年の時が過ぎました。市民会議が始めに手掛けたのは自分たちの住みたいまちの未来像を可視化すること、すなわちランドデザインの作成でした。その内容を基に会員が関係団体のご協力を頂きながら汗を流し活動を進めて参りました。市民会議の設立10周年目にその時代に合った姿にランドデザインを見直し、地域住民の皆様にお示しをしようとした矢先に東日本大震災に被災、多くの被害を受けながらも今日まで国、県、市のご協力を得ながら小名浜は復旧、復興の道を手探りで進み、その結果まちの姿が大きく変化して来ました。

鹿島街道の拡幅、延伸と直線化、港湾背後地再開発のショッピングモール化、汐風竹町通りの整備、小名浜マリブリッジの竣工など、それらの多くは2回にわたる「小名浜ランドデザイン」に皆で描いた内容が、被災直後の混沌とした状況の中で、復旧、復興の進むべき方向を示し、それが現実になった姿です。今後も小名浜道路やいわきサンマリーナの再開など変化の継続は進んでいく予定です。

そのような中で過去2回のランドデザインの役割は一つの節目を迎え、少子高齢化、地域人口の減少等の将来への不安定要素を抱える中で地域住民の皆様が思い描く「自分たちの住みたいまち」にも変化が現れ、ランドデザインの見直しの必要性が増してきていることを感じます。活動開始から20有余年の時を経た市民会議は今後の20年を見据えて新たなまちづくりに着手します。その“道しるべ”が今回の「港まち小名浜のランドデザイン」です。

この内容を基に、関係諸団体のご支援を頂きながら「私達が住みたいまち小名浜」づくりにむけて、会員が力を合わせて進んで参りたいと思います。ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和4年3月



小名浜まちづくり市民会議
会長 小沼 郁互

目次

| | | |
|------|-------------------------|----|
| I | ランドデザインとは | 1 |
| II | 小名浜まちづくりの取り組み | 2 |
| III | 第2期までのランドデザインの検証 | 4 |
| IV | 小名浜の課題 | 5 |
| V | まちづくりのコンセプト | 6 |
| VI | まちづくりの理念 | 7 |
| VII | まちづくりのエリアとテーマ | 8 |
| | 1. エリア | 8 |
| | 2. まちづくりのテーマ | 9 |
| | 3. テーマに込めた思い | 10 |
| VIII | 夢の実現に向けた推進計画・アクションプログラム | 12 |
| | 1. 高齢者のつどいの場〔くらしのエリア〕 | 12 |
| | 2. 小名浜の小中学校の未来（くらしのエリア） | 15 |
| | 3. 市民サービス機関の集約（くらしのエリア） | 18 |
| | 4. コミュニティ交通（くらしのエリア） | 21 |
| | 5. アクアマリンパーク（にぎわいエリア） | 24 |
| | 6. マリーナ（にぎわいエリア） | 26 |
| | 7. 多機能スタジアム（にぎわいエリア） | 28 |
| | 8. 大型客船（にぎわいエリア） | 30 |
| | 9. 小名浜の歴史と文化（全体） | 32 |
| | 10. まちの担い手づくり（全体） | 35 |
| | 11. まちの魅力の情報発信（共通） | 37 |
| IX | まちづくりの推進体制 | 39 |
| | ●参考資料 | 41 |

第3期 港まち小名浜のランドデザイン

発行 令和4年3月

編集・発行 小名浜まちづくり市民会議
〒971-8101 いわき市小名浜本町11-1
TEL 0246-52-1275 FAX 0246-52-1415
MAIL : info@onahama.jp WEB : <https://www.onahama.jp/>

協力 アルファ社会科学(株)
〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-8-1-702

